

2026年度セメント需要見通し

2026年2月26日
一般社団法人セメント協会

国内需要

2026年度の国内需要は、30,000千t(前年比 98.7%)と見通した。

官需について、2026年度公共事業関係費予算案は、2025年度補正予算の「第1次国土強靱化実施中期計画」と合わせると前年度を上回る見込み。一方、労務費や資材コストの上昇が続いていることから金額あたりのセメント使用量は減少するものの、防衛関連需要や能登震災復興需要等が見込まれるため、大幅な数量減少には至らないと想定する。

民需について、住宅投資は前年度を上回る見通しだが、少子高齢化や住宅価格上昇の影響などから回復は限定的となる見込み。また、住宅ローン減税は延長されたものの、金利上昇が下振れ要因となる可能性がある。設備投資は、事務所や工場は増加が続く一方、物流倉庫は大型案件の一巡や建設コスト高止まりにより前年を下回ると見込む。

加えて、働き方改革による工事現場等の週休2日制については、官需は先行的に導入が進みほぼ定着済みであるが、民需では引続き拡大すると想定する。

以上の背景から、30,000千t(前年比 98.7%)と見通した。

輸 出

アジア地域においては、経済成長に伴い輸出の増加が期待されること、オセアニア地域においては、オーストラリア国内の需要が堅調に推移していくことが見込まれることから、対前年400千t増の9,300千t(前年比 104.5%)程度と見通した。

(単位:千t、%)

	2025年度		2026年度	
	見込み	前年比	見通し	前年比
国内需要	30,400	93.1	30,000	98.7
官需	12,700	93.5	12,700	100.0
(構成比)	(41.8)	—	(42.3)	—
民需	17,700	92.8	17,300	97.7
(構成比)	(58.2)	—	(57.7)	—
輸 出	8,900	108.4	9,300	104.5

以 上